過疎地域を守りたい

きっかけ

社会の授業の時に、過疎や限界集落などの問題を学んだ。これらの問題はどう解決していけるのか気になったため、テーマに決定した。

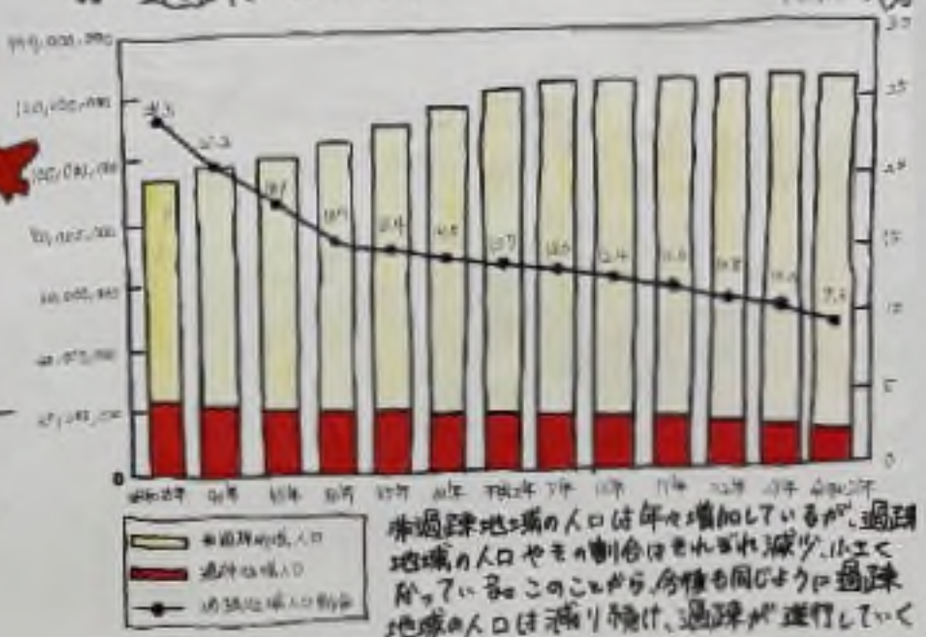
日本の限界集落の分布は？

- 都道府県別限界集落比率（2019年）



偏差値が高い地域は人口が少なかったり、森林や山が多いという共通点がある。
また、高い地域ほど人口が少なく都市部に近い地域ほど比べて森林や山が少ない。

の 過疎・非過疎地域人口の推移（2022年



非過疎地域の人口は年々増加しているが、過疎地域の人口やその割合はそれぞれ減少、小さくなっている。このことから、今後も同じように過疎地域の人口は減り続け、過疎が進行していくとも考えられる。

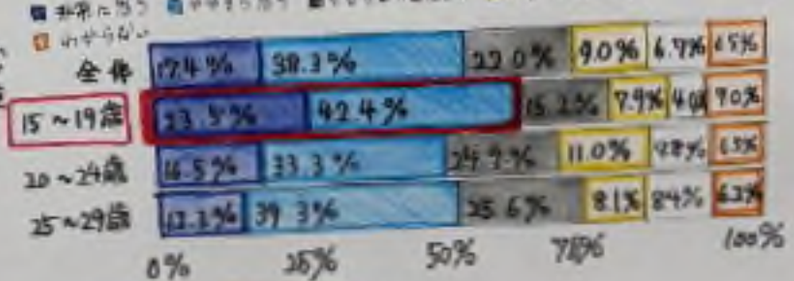
地方で暮らすこと、あこがれる？



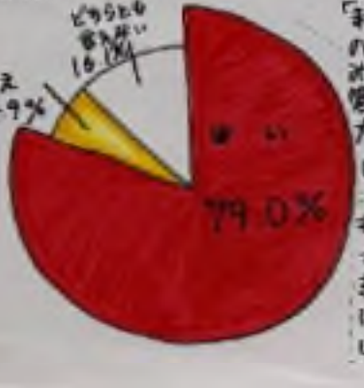
地方で暮らすことに「とてもあこがれる」「まあまああこがれる」と答えた人は全体の約2分の1だった。このことから都市部に住む人々は地方暮らしに関心をもってる人が多いと考えられる。

持続可能な地域づくりに貢献したい？

【年代別】



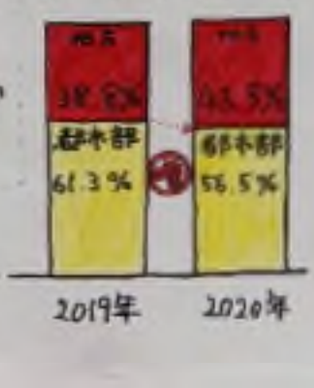
実際に地方暮らしをしてみたい？



上の質問で「とてもあこがれる」「まあまああこがれる」と回答した人のうち、実際に地方暮らしをしてみたいがという質問に「はい」と答えたのは79.0%であり、全体の大半が地方暮らしを希望していることがわかる。

将来暮らしたい最新の調査では「地方」と答える人が全体の約4割で、2019年から2020年にかけてその割合は増えていることがわかる。

将来、どこで暮らしたい？



考察

- 日本の限界集落や過疎の地域は今後悪化していくと考えられる
- だが、地方への移住や地域づくりなどに興味・関心をもつ都市部の若者は多い

まとめ（主張）

地方に興味・関心のある都市部の人をボランティアとして募集し、その活動を広めることで過疎の地域を助けることができるのではないか。